

# '96 神戸学院大学 Green Festival

(大学創立30周年・フェスティバル通算100回 記念公演)

Programme:

- 5月11日(土) 15:00** 大阪フィルハーモニー交響楽団 コンサート  
指揮/松尾葉子 独唱/伊原直子  
J. S. バッハ 組曲 第2番 口短調 BWV. 1067 (フルート・ソロ/櫻田雅祥)  
グルック 歌劇「オルフェオとエウリディーチエ」より アリア2曲 他  
ヴィヴァルディ スターバト・マーテル (悲しみの聖母)  
モーツァルト 交響曲 第38番 二長調 K. 504「ブラハ」
- 5月25日(土) 15:00** ブラシシモ・ヴィーン(金管五重奏) コンサート  
ヴェルディ 歌劇「アイーダ」より 凱旋行進曲とバレエ音楽  
モーツァルト 歌劇「魔笛」より 夜の女王のアリア 他  
ハチャトゥリアン バレエ音楽「ガイヌ」より 剣の舞  
J. シュトラウス ポルカ「雷鳴と電光」/ピッツィカート・ポルカ/常動曲 他
- 5月26日(日) 15:00** 神戸学院大学吹奏楽部 第10回 サマーコンサート  
第1部 J. バース「アルヴァマー序曲」 他  
第2部 ポップス ステージ
- 6月1日(土) 18:30** マティアス・ランフト(チェロ) ジョイント・リサイタル  
小笠原智子(ピアノ)  
ベートーヴェン チェロ・ソナタ 第5番 二長調 作品102-2  
シューマン 森の情景 作品82 [ピアノ・ソロ]  
ラフマニノフ チェロ・ソナタ ト短調 作品19  
◎この公演は夜公演です
- 6月6日(木) 16:30** 能を観る会 「小鍛冶」(観世流)  
シテ/上田公威 ワキ/福王和幸 アイ/善竹隆司 笛/野口亮 小鼓/上田敦史  
大鼓/山本哲也 太鼓/上田慎也 地頭/上田拓司 後見/上田貴弘・吉井基晴
- 7月6日(土) 15:00** 仲道郁代(ピアノ)・小林美恵(ヴァイオリン)・長谷川陽子(チェロ)  
ゴールデン・トリオの午後  
ショスタコーヴィチ ピアノ・トリオ 第2番 ホ短調 作品67  
チャイコフスキー ピアノ・トリオ イ短調 作品50 「偉大なる芸術家の思い出に」

会場/神戸学院大学メモリアルホール(9号館)

主催/神戸学院大学

後援/兵庫県・(財)神戸市民文化振興財団

## ○お申込方法 (入場無料)

- (1) 往復ハガキ(1枚につき1公演・1名のみ入場できます)に①公演名 ②氏名 ③住所 ④電話番号を記入してお申込みください。
- (2) 申込受付は各公演の1カ月前~2週間前までの期間とします。
- (3) 学齢期に達していないお子さまの入場はできません。
- (4) 希望者多数の場合は抽選を行います。

## ○お申込み お問い合わせ先

651-21 神戸市西区伊川谷町有瀬518 神戸学院大学グリーンフェスティバル係  
電話 078-974-1551 (代表)

## ○交通経路と所要時間

- ① JR「明石」駅より「神戸学院大学行」バスに乘車(20分)
- ② 神戸市営地下鉄「伊川谷」駅より「神戸学院大学行」バスに乘車(15分)

# こ 案 内

## 大阪フィルハーモニー交響楽団 コンサート

本年も恒例の大阪フィルで開幕。オペラに、コンサートに活躍中の松尾葉子がフェスティバル2回目の登場のバトンを取り、3回目の登場の国際的アルト伊原直子がオペラ・アリアと宗教曲を歌い分け、フルート首席の榎田雅祥もソロを披露する豪華版。バッハ「組曲第2番」、グルック「オルフェオとエウリディーチェ」より“澄みわたる空”“精霊の踊り”“われエウリディーチェを失ひぬ” ヴィヴァルディ「スターバト・マーテル」(黒澤明「八月の狂詩曲」のテーマ曲)、モーツァルト「交響曲第38番」(ブラハ)という多彩なプログラム。

## ブラシシモ・ヴィーン コンサート

人気者の金管五重奏がヴィーンから来訪。ポピュラー作品を大胆に組み合わせた肩の凝らない構成で、初心者はもちろん、耳の肥えたファンをも楽しませます。スメタナ「売られた花嫁」序曲、バッハ「組曲第3番」アリア、ヴェルディ「アイダ」行進曲とバレエ音楽、チャイコフスキー「くるみ割り人形」小序曲、ハチャトゥリアン「ガイヌ」剣の舞、モーツァルト「魔笛」夜の女王のアリア、ロイド＝ウェッパー「オペラ座の怪人」私を思う、J.シュトラウス「雷鳴と電光」「ピッツィカート・ポルカ」「常動曲」など盛り沢山のプログラム。

## 神戸学院大学吹奏楽部 第10回 サマーコンサート

吹奏楽部は昨年引き続きの出演で、サマーコンサートも第10回を迎えることになりました。今回のプログラムは、第1部では吹奏楽のオリジナルの曲から、J.バーンズ「アルヴァマー序曲」、A.リード「オセロ」を、第2部では、いろんなジャンルから吹奏楽用にアレンジされた曲でポップス・ステージをお送り致します。また、11月30日に第20回定期演奏会を尼崎市アルカイクホールにて開催いたしますので、ぜひご来場ください。チケット等、詳細につきましては、神戸学院大学吹奏楽部までご連絡ください。

## マティアス・ランフト(チェロ) ジョイント・リサイタル 小笠原智子(ピアノ)

名手ヤーノシュ・シュタルケル氏に師事し、1991年よりドイツの名門バンベルク交響楽団の第1ソリストをつとめ、室内楽活動にも熱心なチェリストがベルリン芸術大学出身の夫人と組んでのリサイタルでフェスティバル初登場。ベートーヴェン「ソナタ第5番」、シューマン「森の情景」(ピアノ・ソロ)、ラフマニノフ「ソナタ」というプログラムもなかなか魅力的です。

## 能を観る会 「小鍛冶」(観世流)

グリーンフェスティバルで、初めての能の会です。大学での公演であれば、学生に近い年齢の人たちだと考え、そのとおり名門の御曹司達が揃いました。演目は「小鍛冶」。帝より剣を打つよう命じられた三条宗近が、稲荷明神の助力を得て見事に名剣をこしらえ上げるストーリー。シテ稲荷明神(前半童子)は観世流上田家の上田成威、ワキ宗近に福王流宗家の長男福王和幸。間狂言も囃子方もすべて若き実力者たちばかりです。颯爽とした内容の「小鍛冶」を澁刺と演じてくれるでしょう。新鮮な能の魅力をぜひ味わってください。

## 仲道 郁代(ピアノ)・小林 美恵(ヴァイオリン)・長谷川陽子(チェロ) ゴールデン・トリオの午後

実力・人気とも抜群。売れに売れている活きのよい3人を揃えました。絢爛豪華極まりない看板通りの「黄金のトリオ」。メインのチャイコフスキーは私どもの方から希望した曲で、メロディの美しさと泣かせる曲。もう1曲をお任せしたら、ショスタコーヴィチの第2番を選んで下さいました。比較的知名度は低いかもしれませんが、変化に富むなかなかよい曲です。同じロシア物ながら持味の違うこの2曲、実により組み合わせです。インタヴューも行う予定なので、終演は5時を越えると存じます。そのおつもりでお越しください。